

和文誌『地球環境』投稿規定

1. 投稿資格

本誌への投稿は会員を原則とする。ただし、編集委員会が寄稿を依頼した場合はこの限りではない。

2. 投稿原稿の種類

投稿原稿の種類は、「総説」、「解説」等とする。

- 1) 総説：研究プロジェクトの研究成果等
- 2) 解説：研究会議の結果報告や研究プロジェクトの解説等

3. 原稿の校閲

編集委員会は、受け付けた原稿の校閲を複数の専門家に依頼する。その結果、内容や体裁に問題があると判断された場合には、その旨を著者に伝え修正を求める。修正を求められた原稿は2ヶ月以内に再投稿することとし、2ヶ月を過ぎれば新規として扱う。受理できないと判断された場合、理由を明記して著者に返送する。細部の体裁については、編集作業の段階で編集委員会が手を加える場合がある。

4. 原稿の書き方

(1) 字数・文字種

- ① 「総説」、「解説」は、刷りあがり8頁以内とする。

印刷1頁あたりの文字数は2,300字程度。図・表がない場合は、次の「(2) 構成」①にある必要事項をすべて含めて17,500字以内を目安とする。図・表は、小さいものでおおよそ600字程度、大きいもので1,200字程度に換算し、8枚までとする。なお、刷りあがりページ数が8頁を超える場合には、2頁あたり2万円で掲載することができる。

- ② 字体は原則としてすべて全角文字。ただし、欧文および算用数字は半角文字にて入力すること。

(2) 構成

- ① 第1頁には、以下の項目を表記する。

- ・表題（日本語と英語訳）
- ・和文簡略表題（ランニングタイトル）
- ・著者全員の氏名（日本語と英語）
- ・それぞれの所属機関（日本語と英語）
- ・住所およびメールアドレス（第一著者のみ）

第2頁以下は、次のような順でまとめる。

- ・摘要（日本語で400字以内）
- ・キーワード（日本語で5つ程度、50音順に並べる。対応する英語訳も記載する。）
- ・本文
- ・引用文献
- ・図表キャプション
- ・図・表

- ② 本文では、章はアラビア数字の連続番号で、節は章の番号と一緒に用いて1. 1のようにする。

(3) 文体

- ① 文章は口語体として、現代かな遣い・常用漢字を用いる。外国語は原語表記を原則とするが、原語によってはラテン文字化を必要とする場合がある。

- ② 単位は原則としてSI単位を用いる。

(4) 図・表

- ① 図・表は、それぞれ「図1」、「表1」のように通し番号を付ける。写真は図として扱う。

- ② 本文中に図・表の挿入位置を指示する。

- ③ カラーの図・表も無料で掲載できる。図・表はすぐに印刷にまわせる状態のものとする。（パソコンで作成した図・表の場合、Word文書に貼りつけたりPDFなどに変換せず、元のデジタルデータの状態のものが望ましい。）なお、図表の大幅な修正が必要と判断された場合、作製料は著者負担となる。

(5) 数式

数式は上下に1行ずつあけて明瞭に書く。数式の画像データを貼りつけたものは掲載できない。

(6) 略語

略語を用いる場合、原則として初出時に完全名を書く。

(例) MOE (Ministry of the Environment, 環境省), Ministry of the Environment (環境省, MOE)

(7) 注

論文末に一括掲載する。注番号は通し番号とし、注1)、注2)、注3)と上付きで表記する。ただし、注は最小限にとどめるのが望ましい。

(8) 引用文献

- ① 本文中の引用は、以下の例にならって行う。引用する順に番号を上付きでつける。なお、外国語雑誌等からの引用の場合、著者名は原語表記のままとする。
「松本は1) ……」
「…35℃を超えると急激に増加する傾向にある2)」
- ② 引用文献リストは、本文中に引用したものすべてをまとめる。雑誌名はフルネームで記載すること。なお、文献の配列は引用順に並べ番号をつける。

引用文献記載例

(単著の場合)

著者名 (西暦年号) 本の表題, 出版社名.

- 1) 吉野正敏 (2003) 中国の沙漠化, 大明堂.

(雑誌掲載論文の場合)

著者名 (西暦年号) 表題. 雑誌名 (フルネームで記載), 雑誌の巻数, 開始ページ数- 終了ページ数.

- 2) 安藤 満・山元昭二・浅沼信治 (2003) 温暖化による熱ストレスと熱中症. 地球環境, 8, 211-220.

- 3) Higuchi, H., Y. Miyagawa, E. Morishita, E. Kuboshima, H. Yoshida and Y. Shibata (2003) Soap storing by crows. *Global Environmental Research*, 7, 161-164.

(編著, またはシンポジウムの会議録などの場合)

著者名 (西暦年号) 論文の表題. 編集者名 (編), 本の表題 (フルネームで記載), 開始ページ数- 終了ページ数, 出版社名.

- 4) 鷺谷いづみ (2003) 今なぜ自然再生事業なのか. 鷺谷いづみ・草刈秀紀 (編), 自然再生事業: 生物多様性の回復をめざして, 2-42, 築地書館.

- 5) Rapley, C. (2006) The Antarctic ice sheet and sea level rise. In: H. J. Schellnhuber, W. Cramer, N. Nakicenovic, T. Wigley and G. Yohe, eds., *Avoiding Dangerous Climate Change*, 25-27, Cambridge University Press.

(電子ジャーナルなどのネットワーク系情報の場合)

WWWなどに存在するネットワーク系情報については、その永続性に保証のない場合が殆どであることから、慎重な取扱を要する。原則として印刷体の入手が困難な場合のみに引用することとする。

著者名 (西暦年号) 表題. 雑誌名等, 巻数, 開始ページ数- 終了ページ数. <URL 表示>

- 6) Thompson, R. S., K. H. Anderson and P. J. Bartlein (1999) Atlas of relations between climatic parameters and distributions of important trees and shrubs in North America. *U.S. Geological Survey Professional Paper*, 1650 A&B.

<<http://pubs.usgs.gov/pp/p1650-a/>>

(CD-ROM などのパッケージ系情報の場合)

著者名 (西暦年号) 表題. 出版社名 (媒体表示).

- 7) 国土地理院 (2000) 数値地図 50 m メッシュ (標高). 日本地図センター. (CD-ROM).

- ③ 「(in press)」は、その論文が雑誌に受理されている場合にのみ使用する。それ以外の場合は、本文中で、「(unpublished)」とし、引用文献には入れない。

5. 原稿の送付

デジタル原稿とともにプリントアウトした原稿一式を提出する。デジタル原稿については、CD-ROM に書き込んだものをプリントアウトした原稿とともに簡易書留等でお送りいただくのが一番好ましいが、メールの添付ファイルでも受け付ける。図・表は1点を1枚に印刷し、1点ずつ氏名を記入すること。

6. 原稿の返却

原稿は著者に返却しない。ただし、図・表・写真については、投稿時に申し出があれば返却する。

7. 校正

掲載が決定した原稿は初校のみ著者に送付するので、速やかに校正し、指定の期日までに返送する。著者校正時における文章や図表の追加・削除・変更は認められない。

8. 別刷り

別刷りはが必要な場合には、費用は著者負担となる。

9. 著作権

本誌に掲載された原稿の著作権は、一般社団法人国際環境研究協会 (AIRIES) に帰属する。

投稿論文募集

- 『地球環境』は、地球環境問題に関する最新かつ質の高い論文を、専門の研究者だけでなく、地球環境に関心をもつ一般の人々にも理解していただくことを心がけて編集している、年2回発行の学術雑誌です。専門の学会誌と同じく、レフリーによる審査を経て高い水準を保っており、この点で、一般の商業誌とは性格を異にしています。
- 時宜に適したテーマについて総説、プロジェクト研究の解説などを主体とします。原著論文については、新しい研究手段を用いた研究、新しい角度からなされた研究を特に歓迎します。研究成果の速報を目指した短報、資料なども受け付けます。
- 『地球環境』に寄稿することができる者は次の通りとします。
 - 一般社団法人 国際環境研究協会の会員^(注)
 - 一般社団法人 国際環境研究協会の連携研究機関に所属する研究員
 - その他、編集委員会が適当と認めた者
- 国内・国外を問わず、他誌に掲載されたもの、または投稿中のものはご遠慮ください。
- 編集委員会は、編集方針に従って、投稿論文の採否、原稿の加筆、削除、および書き直しなどを決定致します。執筆方法の詳細は投稿規定を参照してください。
- 投稿料・原稿料はありません。別刷が必要な場合は、実費を請求致します。
(注) 当協会の会員の種類は3種類あり、法人会員、個人会員、一般会員です。
一般会員は入会金2,000円および年会費3,000円をお支払いいただきますと、どなたでもなることができます。会員の方にはその年度に発行される『地球環境』および“Global Environmental Research”を随時お送りしております。
なお入会時には、在庫のある特集号に限りバックナンバーを謹呈致します。

----- 切 取 線 -----

『地球環境』原稿送付状

(発 送 年 月 日)

原稿の種類	
表題	
英語訳：	
和文簡略表題 (ランニングタイトル)	
第一著者名：	
所属機関名：	
〒 □□□-□□□□	
住 所	
メールアドレス：	電話番号：
原稿枚数 本文 (枚) 表 (表) 図 (図 (うち写真 枚))	

* 原稿送付上の注意

- 投稿規定に準拠しているかどうか、もう一度確かめてください。
- 原稿は本文・図表ともデジタル原稿とプリントアウトした原稿1部を送付してください。
- 受理後の原稿は多少の字句訂正を除き改訂を認めません。大幅改訂の場合は、再投稿として取り扱います。
- 原稿は返却しません。図・表・写真の返却を希望する場合は、その旨を明記し、切手つき返信用封筒を添えてください。